

GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリスト（学校向け）

【別紙1】

No.	質問項目	具体のイメージ、期待される効果等	チェック欄						
教職員と保護者間の連絡のデジタル化									
1	児童生徒の欠席・遅刻・早退連絡について、クラウドサービスを用い、PC・モバイル端末等から受け付け、学校内で集計していますか。	児童生徒からはアクセスできない環境で汎用クラウドツール（例：フォーム、Forms）等を活用することにより、朝の忙しい時間の電話や連絡ノートの提出が不要となり保護者の満足度が向上するとともに、集計や連絡にかかる教職員の負担も大きく減ることが期待できる。 ※1人1台端末を利用して連絡を受け付ける場合、児童生徒と同じアカウントを用いると、児童生徒自らが入力してしまうことが想定されるため、保護者アカウントの発行等保護者のみが利用できる環境を整える必要がある。	全くしていない	一部している (半分未満)	一部している (半分以上)	完全にデジタル化 している	-	-	
2	業務時間外の保護者からの問い合わせや連絡事項について、クラウドサービスを用い、PC・モバイル端末等から受け付ける体制を整えていますか。	業務時間外の保護者からの問い合わせや連絡を電話ではなく汎用クラウドツール（例：グループウェア）等を活用して受け付けることにより、保護者が都合の良いタイミングで連絡することが可能となり、保護者の満足度が向上するとともに、教職員は業務時間内に内容を確認・対応することができ、教職員の負担軽減が期待できる。	整えていない	整えている	-	-	-	-	
3	学校から保護者へ発信するお便り・配布物をクラウドサービスを用いて一斉配信していますか。	汎用クラウドツール（例：グループウェア）等を活用して各種お便り、給食の献立表、文房具・教材等の注文書、関係機関からのお知らせ等を一斉配信することにより、保護者はお便りをスマートフォン等各種端末から都合の良いタイミングで読むことができ、連絡物の紛失、渡し忘れもなくなり満足度が向上する。印刷コストや印刷・配布にかかる時間や手間も省けて教職員の負担が軽減するとともに、写真やカラーの活用、QRコードや動画埋め込み等も可能となることが期待できる。	全くしていない	一部している (半分未満)	一部している (半分以上)	完全にデジタル化 している	-	-	
4	保護者から学校への提出資料をクラウドサービスを用い、受け付けていますか。	汎用クラウドツール（例：フォーム、Forms）等を活用し、家庭環境調査票、各種同意書（1人1台端末の利用同意書、写真使用同意書、移動教室同意書、PTA委任状等）、各種申込書（放課後教室申込書、教材任意購入申込書等）、児童生徒の健康診断のための保健調査票等をデジタル化することで書類の紛失、渡し忘れもなくなり保護者の満足度向上、負担軽減につながるとともに、回収にかかる時間が大幅に短縮され、教職員の負担軽減が期待できる。	全くしていない	一部している (半分未満)	一部している (半分以上)	完全にデジタル化 している	-	-	
5	保護者への調査・アンケート等をクラウドサービスを用いて実施・集計していますか。	汎用クラウドツール（例：フォーム、Forms）等を利用して、学校評価アンケート等をデジタル化することで書類の紛失、渡し忘れもなくなり保護者の満足度向上、負担軽減につながるとともに、集計にかかる時間が大幅に短縮され、教職員の負担軽減が期待できる。	全くしていない	一部している (半分未満)	一部している (半分以上)	完全にデジタル化 している	-	-	
6	保護者との日程調整をクラウドサービスを用いて行っていますか。	汎用クラウドツール（例：フォーム、Forms、カレンダー）等の活用により、保護者面談、三者面談、家庭訪問等の日程調整に係る教職員・保護者双方の手間を大きく軽減し、教職員の働き方改革や保護者満足度の向上につながることが期待できる。	全くしていない	一部している (半分未満)	一部している (半分以上)	完全にデジタル化 している	-	-	
7	学校説明会や保護者面談などにオンライン形式を取り入れていますか。	汎用クラウドツール（例：Meet、Teams、FaceTime）等を活用して集合に依らない説明会や面談を行うことで、紙での会議資料等の印刷・帳合・配付等の作業、会場の設営や受付業務が不要となり、教職員の負担軽減が期待できる。	全く取り入れていない	一部取り入れている (半分未満)	一部取り入れている (半分以上)	完全にオンライン化 している	-	-	
8	学校徴収金について、現金徴収ではなく、口座振替、インターネットバンキング等を活用して徴収金の徴収を行っていますか。	口座振替、インターネットバンキング等を通じて教材費、修学旅行経費等の徴収金の徴収をデジタル化することにより、徴収金の紛失が防げるとともに徴収の手間が大きく省け、教職員の負担軽減が期待できる。 ※本チェックリストにおける学校徴収金とは、学校給食費、教材費等、入学時一括購入品費、調査関係経費、卒業諸費、修学旅行費、校外活動費、芸術鑑賞費又はスポーツ振興センター掛金（独立行政法人日本スポーツ振興センター法（平成14年法律第162号）の規定に基づいて徴収されるもの。）など、学校教育活動上必要となる経費として児童生徒及び保護者から徴収する経費のことを指す	全くしていない	一部している (半分未満)	一部している (半分以上)	完全にデジタル化 している	-	-	
8-2	（一部している・完全にデジタル化している場合）どのような学校徴収金を現金徴収以外の方法で徴収していますか。（複数選択可）	-	（選択肢：学校給食費/教材費等/入学時一括購入品費/調査関係経費/卒業諸費/修学旅行費/校外活動費/芸術鑑賞費/スポーツ振興センター掛金）						
8-3	（一部している、完全にデジタル化している場合）学校徴収金の徴収にどのようなツールを活用していますか。（複数選択可）	-	（選択肢：インターネットバンキング/コード決済システム/口座振替/その他）						
8-4	（その他を含む場合）その他の内容を教えてください。（自由記述）	-	（自由記述）						
教職員と児童生徒間の連絡等のデジタル化									
9	児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、家庭で利用できるようにしていますか。	1人1台端末を児童生徒が家庭で利用できるようにすることで、児童生徒への各種連絡や宿題・家庭学習・課題の作成・採点のデジタル化等が可能となり、教職員の負担軽減が期待できる。	持ち帰ってはいけない こととしている	持ち帰らせていない	臨時休業等の非常時のみ、 持ち帰ることとしている	時々持ち帰って、 時々利用させている	毎日持ち帰って、 時々利用させている	毎日持ち帰って、 毎日利用させている	
10	児童生徒への各種連絡をクラウドサービスを用いて配信していますか。	汎用クラウドツール（例：グループウェア）等を活用し、時間割、テスト範囲等の共有をデジタル化することで、児童生徒が連絡物を紛失することがなくなるとともに印刷コストや印刷にかかる時間も省け、教職員の負担軽減が期待できる。	全くしていない	一部している (半分未満)	一部している (半分以上)	完全にデジタル化 している	-	-	
11	児童生徒への調査・アンケート等をクラウドサービスを用いて実施・集計していますか。	汎用クラウドツール（例：フォーム、Forms）等を利用して、いじめ状況調査、健康観察等をデジタル化することで印刷コストや印刷・配布・回収・集計にかかる時間も省け、教職員の負担軽減が期待できる。	全くしていない	一部している (半分未満)	一部している (半分以上)	完全にデジタル化 している	-	-	

No.	質問項目	具体のイメージ、期待される効果等	チェック欄						
12	宿題をクラウドサービスやデジタルドリル教材を用いて実施・採点していますか。	汎用クラウドツール（例：フォーム、Forms）等やデジタルドリル教材等を利用し、宿題・家庭学習・課題等の作成や採点をデジタル化することで印刷コストや印刷・配布・回収・集計にかかる時間も省け、教職員の負担軽減が期待できる。	全くしていない	一部している (半分未満)	一部している (半分以上)	完全にデジタル化 している	-	-	
13	クラウドサービスを活用し、授業中の小テスト等にCBT（紙ではなく、コンピュータ上で行うテスト方式）を取り入れていますか。例）Microsoft365やGoogle Workspace等のアンケート作成機能の活用や、AIドリル、MEXCBTの活用等による小テストの作成等	汎用クラウドツール（例：フォーム、Forms）等やデジタルドリル教材、MEXCBT等を利用し、小テストや単語テストの作成や採点をデジタル化することで印刷コストや印刷・配布・回収・集計にかかる時間も省け、教職員の負担軽減が期待できる。	取り入れている	取り入れている	-	-	-	-	
学校内の連絡のデジタル化									
14	職員会議等の資料をクラウド上で共有しペーパーレス化していますか。	クラウド上で資料を配布・保存することにより、印刷・帳合・配布の手間や各自でのファイリングも不要となり、さらにいつでも必要なときに参照できることで、教職員の負担軽減及び業務の質向上が期待できる。	全くしていない	一部している (半分未満)	一部している (半分以上)	完全にペーパーレス化 している	-	-	
15	職員会議等における検討事項について、クラウドサービスを用いて事前に情報共有し、あらかじめ意見を求めていますか。	汎用クラウドツール（例：グループウェア）等で事前に資料を共有し、各自の都合がつかく時間に事前に目を通したり、共同編集機能によりコメントや意見を出すことにより、時間の有効活用や会議時間の短縮が期待できる。	全く求めている	一部求めている (半分未満)	一部求めている (半分以上)	毎回求めている	-	-	
16	職員会議等をハイブリッド（対面・オンライン）で実施していますか。	在宅勤務や出張時等場所を選ばず参加が可能となることに加え、会議内容を録音しておけば、後日見るなどして議論に追いつくなど、教職員の働き方改革につながる事が期待できる。	全くしていない	一部している (半分未満)	一部している (半分以上)	完全にハイブリッド化 している	-	-	
17	教職員間の情報共有や連絡にクラウドサービスを取り入れていますか。	汎用クラウドツール（例：チャット、グループウェア）等を用いることにより、隙間時間を含む各自の都合の良いタイミング（非同期）での意見交換や迅速な情報共有が学校内外を問わず可能となり、教職員間のコミュニケーション活性化が期待できる。	取り入れている	取り入れている	-	-	-	-	
18	学校内外の行事日程、施設や特別教室の利用予約等について、クラウドサービスを使って共有し、いつでも確認できるようにしていますか。	汎用クラウドツール（例：カレンダー）等を使って、学校内外の行事日程、施設予約等について、時間・場所を問わず、入力・編集・確認ができ、教職員間で共有できるようにすることで、業務の効率化が期待できる。	全くしていない	一部している (半分未満)	一部している (半分以上)	完全にデジタル化 している	-	-	
19	教職員が作成した教材等をクラウド上で共有し活用していますか。	汎用クラウドツール（例：掲示板、チャット、グループウェア、オンラインストレージ）等を活用し、教職員間での教材等の共有・共用を通して、教職員ごと、年度ごとに新たに作成する資料の数が削減されることで教職員の負担軽減が期待できる。	全くしていない	一部している (半分未満)	一部している (半分以上)	必要な資料は すべて共有している	-	-	
20	授業研究会や校内研修等をハイブリッド（対面・オンライン）で実施していますか。	授業研究会、校内研修、校務分掌の会議、学校行事関連の会議にオンライン参加可能とすることで、場所を選ばず参加が可能となり、教職員の働き方改革につながる事が期待できる。	全くしていない	一部している (半分未満)	一部している (半分以上)	完全にハイブリッド化 している	-	-	
21	校内研修について、オンデマンド視聴を取り入れていますか。	研修動画のアーカイブ化により時間・場所を選ばず受講が可能となり、研修の参加率及び研修効果が向上するとともに、教職員の働き方改革につながる事が期待できる。その際、独立行政法人教職員支援機構（NITS）やStuDX Styleの研修動画を活用することも考えられる。 【参考】独立行政法人教職員支援機構Website（ https://www.nits.go.jp/materials/ ） 【参考】StuDX Style（ https://www.mext.go.jp/studxstyle/ ）	取り入れている	取り入れている	-	-	-	-	
22	授業研究会や校内研修等での協議にクラウドサービスを用いていますか。	授業研究会、校内研修、校務分掌の会議、学校行事関連の会議における意見交換や反省にチャット機能や付箋ソフトを用いたり、共同編集機能を活用し、児童生徒の学びと相似形の研修を実現することで、研修効果向上及び授業改善が期待できる。	取り入れている	取り入れている	-	-	-	-	
23	教職員への調査・アンケート等をクラウドサービスを用いて実施・集計していますか。	汎用クラウドツール（例：フォーム、Forms）等を利用し、教職員向けアンケートをデジタル化することで印刷コストや印刷・配布・回収・集計にかかる時間が省け、教職員の負担軽減が期待できる。	全くしていない	一部している (半分未満)	一部している (半分以上)	完全にデジタル化 している	-	-	
24	教職員から学校へ提出する事務手続き資料をクラウドサービスを用い、受け付けていますか。	休暇申請、出張申請、出張復命、テレワーク申請、副業申請等各種事務手続きのペーパーレス化を徹底することにより、セキュリティ強化につながるのと同時に、提出・集計・保存が格段に効率化し、教職員の負担軽減が期待できる。	全く受け付けていない	一部受け付けている (半分未満)	一部受け付けている (半分以上)	完全にデジタル化 している	-	-	
25	学校から教職員に紙で提出を求めている書類はありますか。	ペーパーレス化を徹底することにより、セキュリティ強化につながるのと同時に、提出・集計・保存が格段に効率化し、教職員や管理職の負担軽減が期待できる。	ある	ない	-	-	-	-	
25-2	（ある場合）紙での提出を求めている書類名を具体的に教えて下さい。（自由記述）	例：各種手当（通勤手当、住居手当等）に関する書類、給与支払口座登録書類等						（自由記述）	

No.	質問項目	具体のイメージ、期待される効果等	チェック欄					
26	長期休暇期間（夏休み等）の教職員の動静調査をクラウドサービスを用いて実施・管理していますか。	汎用クラウドツール（例：掲示板、カレンダーアプリ、グループチャット）等を活用することで印刷コストや印刷・配布・回収・集計にかかる時間が省け、教職員の負担軽減が期待できる。	用いていない	用いている	-	-	-	-
27	教職員は校務用の個人メールアドレスが付与され、それを業務で利用していますか。	個々にメールアドレスを付与することは学校外では一般的。メールでのやりとりを学校代表アカウントなどにまとめると教頭など管理職の業務負担が不必要に増えたり、迅速な対応が困難となる。これらを回避することは働き方改革と業務の効率化に資することが期待できる。	付与されていない	付与されている	-	-	-	-
その他								
28	「FAXの利用が例外的に必要と考えられる業務」以外の日常の業務にFAXを使用していますか。	その場に人がいないと対応できない通信手段であるFAXの慣行の見直しによりペーパーレス化を進めることで、教職員の柔軟な働き方の推進と校務の効率化が期待できる。 ※本チェックリストにおける「FAXの利用が例外的に必要と考えられる業務」とは、①危機管理に関する業務・手続、非常時対応に関する業務・手続、②民事裁判手続に関する業務・手続におけるFAXの利用を指す。	使用している	使用していない	-	-	-	-
28-2	（使用している場合）FAXのやりとりの相手を教えてください。（複数選択可）	-	（選択肢：教育委員会/役所・役場/自校以外の学校/中体連/高体連/高文連/校長会/教頭会・副校長会/事務長会/PTA関連組織/教科等の研究団体/給食センター/民間事業者/その他）					
28-3	（その他を含む場合）その他の内容を教えてください。（自由記述）	-	（自由記述）					
29	業務で押印が必要な書類はありますか。	押印の見直しによりペーパーレス化を進めることで、教職員の柔軟な働き方の推進が期待できる。	ある	ない	-	-	-	-
29-2	（ある場合）押印が必要な書類を教えてください。（複数選択可）	-	（選択肢：通知表/各種参加・同意・承諾に関する書類（修学旅行・宿泊学習・部活動大会参加等）/各種調査に関する書類（進路希望調査・健康調査・児童環境調査等）/各種申請書（端末借用申請・携帯電話持ち込み申請・学校施設利用申請・就学援助申請・口座振替申請・スクールバス申請等））					
30	校務支援システムへ新入学児童生徒の名簿情報を登録する際の主な入力方法を教えてください。	校務支援システムへの新入学児童生徒の名簿情報の不必要な手入力作業を見直すことで、教職員の負担軽減と柔軟な働き方の推進につながる。	（選択肢：紙のデータを参照し、手入力している/デジタルデータを参照し、手入力している/デジタルデータを処理（データファイルをインポート又はテキストデータをコピーアンドペースト）して入力している/学校での入力は必要ない/校務支援システムを導入していない/その他）					
30-2	（その他の場合）その他の内容を教えてください。（自由記述）	-	（自由記述）					
31	1人1台端末のパスワードについて、教職員が把握し一括で管理するのではなく、児童生徒に管理を任せていますか。	1人1アカウントを割り当てられていることを踏まえれば自身の端末のパスワードは本人が管理できる体制を整えることが必要。1人1台端末のログインパスワードを児童生徒に管理させ、パスワード等を忘れた際にも児童生徒自身で再設定を行う体制を整えることで教職員が情報を一括管理することによるセキュリティリスクや業務負担の軽減が期待できる。	教職員が管理している	児童生徒に任せている	-	-	-	-
32	学級・学校経営に有効な教育データ等が、必要な職位に応じてアクセス権限が設定されるとともに、活用しやすいように整理され、閲覧できますか。	学級経営や学校経営において有効な教育データ（各種学力調査等のスタディログ、各種アンケート調査結果、スポーツテスト、児童生徒の出欠情報）が整理され、職位に応じて適切にアクセス権限が設定されながら、データの閲覧が可能になることで、業務の適切な遂行と改善が期待できる。	できない	できる	-	-	-	-
33	「初等中等教育段階における生成AIの活用に関するガイドライン」に基づき生成AIを校務で活用していますか。	校務に生成AIを活用し、長時間かかっていた作業（教材やテスト問題、校外学習等の行程作成、研修資料、保護者向けお知らせ文書のたたき台）が効率化するなど、働き方改革につながるが期待できる。 【参考】「初等中等教育段階における生成AIの活用に関するガイドライン」（ https://www.mext.go.jp/content/20241226-mxt_shuukyo02-000030823_001.pdf ）	全く活用していない	一部の教職員が活用している（半分未満）	一部の教職員が活用している（半分以上）	ほぼ全員の教職員が活用している	-	-